

# 総合戦略施策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施策	二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
概要	町の魅力を多くの人々に実感してもらうため、町の自然や歴史・文化等に触れられ、体験できる機会づくりを進める。また、進学や就職等により町外へ転出しても、将来、生まれ育った町に戻って子育てしたいと思ってもらえるよう、子どもたちに対して町の自然や歴史・文化に触れられる機会づくりを進める。 また、観光で訪れた人に、「いずれは二宮町に住んでみたい」と思ってもらえるよう、観光情報の提供に努めつつ、「にのみやLife」の提案を推進する。 さらに、生涯学習センター・ラディアンを多様な世代が集い、学習を深め、交流する場として町内外への発信力を強化する。

## 数値目標

指標名	基準値	目標値
二宮町の人口	28,479人 (平成27年9月1日現在)	27,168人以上 (平成31年度実績値)
二宮町の社会移動数	転出超過213人 (平成26年度住民基本台帳)	転出超過58人以下 (平成31年度実績値)

## 重要業績評価指標(KPI)

指標名	実績の推移					目標値	備考
	基準値	H28	H29	H30	H31		
生涯センター・ラディアンの施設稼働率	54.0%	55.1%				60.0%	
図書館の来館者数	217,925人	213,555人				240,000人	
文化・芸術活動に対する評価（加重平均）	0.04	0.08 H29アンケート				0.50以上	

【説明欄】(進捗状況・数値で表せない指標について)

## 総合戦略プロジェクト評価

プロジェクト名	総合評価
みんなの二宮を知ろう・学ぼうプロジェクト	Ⅱ
生涯学習センター・ラディアンの交流拠点化プロジェクト	Ⅱ
成果や課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内外に向けた情報発信は、これまでの取り組みにより一定の成果が上がっているため、継続する。</li> <li>・図書館事業の展開や町民へのPR(SNSの活用)により、利用促進を図ったが、さらなる利用拡大を図るため、方策を検討する必要がある。</li> <li>・文化事業や文化団体への支援を継続するとともに、ラディアン施設のさらなる活用を図る必要がある。</li> </ul>

該当評価にレを入れてください

【参考】(総合戦略プロジェクト評価の評価指標／一部抜粋)  
 I：プロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する  
 II：一部、事業を改善する必要がある  
 III：プロジェクト全体を見直す必要がある  
 IV：プロジェクトを休止・廃止する

総合評価	<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
	<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3:施策全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
	<input type="checkbox"/>	5:その他
	説明	施設稼働率や利用者の増加に向け、限られた資源を有効に活用しながら、利用者のニーズに応えるべく、創意工夫を重ねながら、取り組みを推進する必要がある。

## 今後の方向性

来年度に向けての課題や意見等	費用対効果を考慮した上で、利用者のニーズに応えるイベントの実施等により、施設利用者の維持・増加を図るとともに、情報発信を工夫することで、若年層を主体とした新たな利用者の開拓を図る。 また、SNSにより、図書館事業のPRを継続する。
----------------	--

最終評価者 [庁内評価委員会]

<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3:施策を構成するプロジェクトを含め、施策全体を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
<input type="checkbox"/>	5:その他[            ]

意見等

二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくるために、町の自然や歴史・文化等に触れられ、体験できる機会づくりは重要な施策であることから各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、KPIの進捗については基準値を下回った指標があり、十分とは言えず、取り組みの強化や事業の見直しが必要である。  
 今後さらに施策を推進するために、文化団体等と連携し、町民が地域の歴史や文化に触れ、学ぶ機会を創出するとともに、学んだ人たちがその成果を地域に還元できる仕組みづくりを検討する。併せて、公共施設マネジメントを踏まえた文化施設の適切な維持管理とともに、その使われ方の質にも目を向け、町全体の文化力の向上と町民主体の文化活動の促進を図る。